

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和2年7月

事業所名:つつじ学園 職員数 34名 回収数 34名 割合 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	97	3	・スペースに合わせて活動内容や物品配置等を工夫しています。 ・新型コロナウイルス感染予防の観点から、利用者の数を調整して運営しました。	
	②	職員の配置数は適切である	79	21	・常にクラスの運営状況を把握し、クラス外やフリーの職員を効果的に配置するよう努めています。 ・事前に分かっている欠席の情報や、児童の様子などに応じて職員体制の調整をしています。	・職員の役割分担を明確にした上で適正な職員配置を検証してまいります。 ・法で定められた職員数をクリアするだけでなく、個別で関わるが多いクラスの配置については引き続き検討してまいります。 ・センター、事業共に制度上の配置数は適切ですが、より丁寧な支援のため配置数を検討してまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	88	12	・視覚提示等一人ずつが分かりやすいツールを使用しています。 ・室内は必要な物のみ置くなど児童がその時に取り組むべきものを整理し、集中しやすい環境づくりを心掛けています。 ・段差のない構造と手すりやドア、窓のマジックミラーの設置、パーテーションや指示目的の写真・絵カード等の提示で児童の安心につながる工夫や配慮を行っています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	88	12	衛生と安心・安全に配慮して、清掃の徹底と安全点検に取り組んでいます。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	88	12	非常勤職員も含めて横断的なグループを設置しており、定期的な打ち合わせを実施し業務改善を推進しています。	職員のモチベーションを向上させ、今後より一層の充実を目指します。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	94	6		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	97	3		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	88	12	法人内で組織している評議員会で運営や活動の審査を受けています。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	94	6	月2回程度の研修(全体)に加え、各部門ごとの会議も行っていきます。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	91	9	アセスメントに必要な書式の見直しをしており、より評価や目標計画をしやすくしています。	専門職、各クラスの担任との連携を密に行ってまいります。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	76	24		標準化されたアセスメントツールの使用を検討してまいります。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	97	3		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100	0		

関係機関や保護者との連携・関係機関や保護者との連携

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	100	0		
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	94	6	・繰り返しのプログラムを行う事での定着や児童の理解につながるため、枠組みを作って支援しています。 ・児童の様子に合わせたプログラム設定をしています。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	97	3		
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	91	9	打ち合わせ時にいない職員も内容を共有出来るよう、記録を通して確認できるようにしています。また、クラス・部門だけではなく全体で共有できるようにしています。	打合せの定着化に向け凡事徹底してまいります。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	94	6		打合せの定着化に向け凡事徹底してまいります。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100	0		・個々の振り返りだけではなくクラスとしての進め方、内容などを振り返り共有することも併せて行ってまいります。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100	0		
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	97	3	児童一人ひとりの状況を把握している経験豊かな児童発達支援管理責任者が担当しています。	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	97	3	関係機関等との連携強化に向けて、渉外と施設内の支援体制構築をコーディネートする職員を配置しています。	
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	97	3		行政の医療、福祉との連携をさらに密にして支援を行ってまいります。
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	97	3	保護者からの依頼に基づき、主治医や医療機関等との連絡体制を整えています。	
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	94	6	・保護者の依頼のもと、引継ぎをしており、定期的に担当者が連携を取っています。 ・保育所等訪問支援の体制を整えています。	
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	94	6	・保護者の依頼のもと、引継ぎをしており、定期的に担当者が連携を取っています。 ・就学説明会や学校見学等を通じて、情報共有と相互理解を図っています。	
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	88	12	他施設との会議や研修等を通して情報交換、情報共有を行っています。	
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	91	9	児童発達支援センターでは近隣の保育園と交流保育を行っています。	
㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	85	15	自立支援協議会のつながり支援部会に参加し、活動を推進しています。	
㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100	0		
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	79	21	親子通園保護者の療育参加や講師を招いての講演を実施しています。	H26年度に厚労省が各市町村にペアトレ(ペアトレの基本論・ペアプロ)子育て支援(虐待予防・発達障害児者対象)を行うよう体制づくりが求められていますが現場の保育士等の実践に繋がっていない面があります。
㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	94	6	インテークや入園に向けたオリエンテーション等で説明しています。	

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100	0		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100	0		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	97	3	保護者会の会場提供と各種相談に応じています。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	97	3	ニーズに応じた相談体制を構築するため、コーディネートする職員を配置しています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100	0	学園だよりを毎月発行しています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	97	3	個人情報を含む書類の回議や回覧の際には中が見えないような配慮をしています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100	0	外国籍の方には英語等で支援計画を作成したり通訳ボランティアを入れるなどをしています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	91	9		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	97	3	各種マニュアルについては毎年1回見直しをしています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100	0	月1回の火災避難訓練をはじめ各種災害を想定した訓練を実施しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	97	3		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	97	3		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	97	3		事例集、共有ノート等を作成し、予防効果を高めるとともに、今後も定期的に研修を行ってまいります。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	97	3	年度当初に自己点検及び防止に向けた研修を実施しています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している支援計画に記載している	100	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。